３７回生学年通信【第 14 号】　2020.5.19

登校日の連絡です。

○　日　時

５月２１日（木）　９：３０～１１：３０　　出席番号が奇数の生徒

１３：３０～１５：３０　　出席番号が偶数の生徒

○　日　程

① ST
② 配布・諸連絡（5 月 25 日（月）からの分散登校に関する連絡）・アンケート
③ クレペリン検査
④ 下校

○　その他

・今回の課題は６月１日（月）に回収します。ただし、これまでの課題が未提出の人は持参すること。学習時間記録表、生活記録表については５月２１日に回収します。

・クレペリン検査用の鉛筆（HB または B）を２、３本持参してください。

・教室内の密集を避けるために出席番号による分散登校とします。クラス出席番号が奇数か偶数かによって登校する時間が異なるので注意してください。
・朝夕の通勤時間帯と重ならないように時間を設定します。なるべく人込みを避け、マスクを着けて余裕をもって登校してください。
・学校では、換気の徹底、手洗い・うがいの励行を心がけるとともに、アルコール消毒薬の使用、マスクを着用するなど、感染拡大の防止に努めます。
・体調がよくない場合や、登校に不安がある場合は保護者と相談のうえ無理に登校する必要はありません。その場合は学校に連絡してください。

学年主任より

「一年の計は元旦にあり」

誰もが一度はこのことわざを耳にしたことがあると思います。「新しく迎える一年の目標や計画は、その年の初めの元旦に立てれば充実した一年になる」という意味です。日本の学校では、新しく迎える一年の最初は 4 月になります。今年に限っては新型コロナウィルスの影響で 6 月となりますが、みなさんは 2 年生の目標や計画を立てていますか？自分自身にも当てはまることですが、無理な計画を立てて三日坊主となるよりも、現実的な計画を立てることができるといいですね。

さて、みなさんはこのことわざの由来を知っていますか？このことわざの由来は諸説あるそうですが、そのうちの一つに中国の学者である馮慶京（ひょうおうきょう）が著した月令広義（げつれいこうぎ）が由来だとされています。その書物の中で、

一日の計は晨（あした）にあり

一年の計は春にあり

一生の計は勤にあり

一家の計は身にあり

と、あります。ここでいう「晨」は「朝」、「春」は「元旦」、「勤」は「働く」、「身」は「健康」を意味しています。

つまり、ものごとを進めるうえでしっかりと計画を立てることが必要で、結果はまじめに働くことで決まり、まじめに働くにしてもあなたの家族の幸せはあなたが健康でいることが必要だということです。

私自身その通りだと思います。計画は立てることに価値があるのではなく、実行することに価値があります。また、長いスパンの計画を立てることが困難な場合は短いスパンの計画を立てて実行するのもよいでしょう。そして何よりも大事なのは、みなさんの心とからだが健康であることが必要不可欠だということです。